

フサタヌキモ

Utricularia dimorphantha Makino

タヌキモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧ⅠB類

選定理由

分布する池沼が少なく、改修・補修などで失われやすい。(現況:R-)

形態

水中葉は毛状の裂片に細かく分裂し、長さ3~6cmで、捕虫囊は小さく少ない。花は黄色で、径1cm。花軸の基部やその付近の葉腋に短い柄のある閉鎖花を付けるのが特徴である。花はあまり咲かない。越冬芽は緑色。

国内分布

本州(近畿・中部地方)。

県内分布

内浦区。

生態など

池沼に浮遊する食虫植物。花期は7~9月。

生育環境

池沼。

危険要因

池沼開発、水質汚濁、農薬汚染、管理放棄、産地局限、園芸採取、栽培種(スイレンなど)の移入。

特記事項

食虫植物マニアの間では高値で売買されると聞く。文化財として保護する必要がある。



白井伸和・2005年9月3日・奥能登・(花・閉鎖花)本多郁夫

分布図はありません。

県内の分布